

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	80歳代女性におけるダブルルーメンチューブ挿管後の声門下狭窄に起因した気管切開症例の頻度とそのリスク因子 ：単施設後方視的研究(B25-120)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部麻酔科学 助教 関田昭彦
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	本研究は、胸部外科手術で使用される「ダブルルーメンチューブ (DLT)」という特殊な気管チューブに関する研究です。 DLTは左右の肺を分けて換気するために用いられますが、高齢の女性ではまれに声門下（喉の奥）の狭窄が起こり、気管切開が必要になることがあります。 本研究では、過去に当院でDLTによる挿管を受けた80歳以上の女性の診療記録をもとに、その発生頻度や関連する要因を調べ、今後の合併症予防や安全な麻酔管理に役立てることを目的としています。
調査データ 該当期間	2020年4月1日から2025年9月15日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に当院で胸部外科手術を受け、麻酔管理においてダブルルーメンチューブ (DLT) を用いた分離肺換気を実施した80歳以上の女性の方。
研究の方法 (使用する試料等)	本研究では、2020年4月1日から2025年9月15日までの間に当院で胸部外科手術を受け、麻酔の際にダブルルーメンチューブ (DLT) による挿管を行った80歳以上の女性の方の診療情報を使用します。 使用するのは、電子カルテに記載された手術記録・麻酔記録・術後経過などの診療情報と、術前に撮影されたCT画像（気道の太さを測定するため）です。 これらの情報はすべて匿名化し、個人が特定されないようにしてから研究に利用します。新たな検査や治療、来院をお願いすることはありません。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、麻酔科学医局研究費を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属・職位：北里大学麻酔科学教室・助教

担当者：関田昭彦（セキタアキヒコ）

電話：042-778-8111 内線 2529

備考